

2026 教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」				
題 名・副 題	植物ジュニアレンジャー活動(3) ～海岸植物の工夫は？～				
月 日・時 間	2026 年6月20日(土) 10:00～13:30				
開 催 場 所	県立観音崎公園				
部会・講師名	生物部会 吉岡嗣二郎	参加数	5名	講師数	3 名
写 真・画 像					
	通路にはアスカイノデがいっぱいでした		岩場にハマナデシコが咲いていました		
					
	アマモとトビムを観察しました		風や乾燥に強いラセイトソウを観察		
成 果 解 説	海岸植物の生態を知ることにより、自然環境の豊かさとは何かを考え、持続可能な自然環境の維持を考え、それを伝える植物ジュニアレンジャーを育てることが講座の目的です。 今回の活動は、県立観音崎公園において海岸植物がどのような工夫をしているかをテーマに観察と調査を進めました。海と陸地が接する場所は、自然環境が異なり、エコトーン(緩衝地帯)として豊かな生態系が生まれています。最初は、海岸の砂浜において、風雨に強い「ラセイトソウ」や食べることができる「ツルナ」などの海岸植物に興味をもっていただくことができました。葉が巨大な「カミヤツデ」のほか、日本で最も長い植物名の「アマモ(別名:日本で一番長い名前のリュウグウノオトメノモトユイノキリハズシ)」を観察しました。 午後は東京湾防塞設備の砲台跡や東京湾の安全な航行を守った観音崎灯台からの眺めを楽しみました。通路脇にはアスカイノデをたくさん観察することができました。また、砲弾倉庫として用いられた現在のパークセンターの内部を見学しました。				